

大藪小 学校評価アンケート 集計結果（令和元年１２月実施）

表の見方について
重要度と実現度は「７」点を満点としています。重要度と実現度の差が大きくなるとニーズ度が高くなります。

《児童版》

《保護者版》

	質問	実現度 1・2年		実現度 3・4年		実現度 5・6年	
		7月	12月	7月	12月	7月	12月
1	授業中、勉強はわかりますか	6.1	6.2	5.7	5.5	5.3	5.4
2	授業に、一生懸命取り組んでいますか	6.3	6.3	5.5	5.3	5.4	5.6
3	進んで発表したり、しっかり周りの人の話を聞いたりしていますか	6.3	6.2	5.1	5.1	4.8	4.9
4	毎日、家での学習をしていますか（学年×15分）	6.5	6.2	5.4	4.9	4.3	4.4
5	学校や家で、進んで読書をしていますか	6.1	5.8	5.0	4.7	4.8	4.6
6	学級や学校の生活は楽しいですか	6.5	6.5	5.9	5.7	5.6	5.6
7	進んで「おはよう」等の挨拶や、「ありがとう」を言っていますか	6.5	6.3	5.9	5.9	6.0	5.7
8	学級や学校のきまりを守っていますか	6.3	6.1	5.5	5.5	5.4	5.4
9	相手を思いやり、考えて行動できていますか	6.5	6.5	5.4	5.5	5.2	5.2
10	進んで係や当番の仕事をしていますか	6.8	6.6	6.0	6.0	5.8	5.6
11	早く寝て、早く起きて、朝ご飯を食べる等、規則正しい生活が送れていますか	6.0	5.8	5.4	5.1	5.2	5.0
12	10時間ほど寝ていますか	5.9	5.7	5.9	5.7	5.6	5.2
13	学校であったことを家の人に話していますか	5.5	5.6	4.9	4.9	4.6	5.0
14	学級や学校の中で、人の役に立っていると感じていますか	6.3	6.1	4.6	4.5	4.0	4.1
15	自分には、よいところがあると思いますか	5.9	6.0	5.1	4.8	4.4	4.2
16	今の自分が好きですか	5.3	5.5	4.8	4.8	4.5	4.1
17	学級や学年、学校の仲間を大切にしていますか	6.4	6.5	5.8	5.8	5.8	5.7
18	困ったことや、嫌なことがあったら、友達や周りの大人に相談できますか	5.8	5.8	4.7	5.1	5.0	4.8

	質問	7月			12月		
		重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度
1	子どもにとって授業がよく分かること	6.9	5.2	19.3	6.9	5.2	19.6
2	子どもが授業に一生懸命取り組むこと	6.8	5.2	18.7	6.8	5.3	18.7
3	授業中、子どもが進んで発表したり、しっかり周りの話を聞いたりすること	6.7	4.9	20.5	6.7	4.7	22.1
4	子どもが毎日、学年相応（10～15分×学年）の時間、家庭学習に取り組むこと	6.1	4.6	20.9	6.1	4.3	22.8
5	子どもが学校や家で、進んで読書をする事	6.0	3.9	24.5	6.1	3.6	26.7
6	子どもが毎日楽しく学校に通うこと	6.9	6.1	13.2	6.9	6.0	14.0
7	子どもが進んで「おはよう」等の挨拶や、「ありがとう」が言えること	6.9	5.4	17.9	6.9	5.3	18.8
8	子どもが、学級や学校のきまりや約束を守ること	6.8	5.6	16.4	6.7	5.4	17.4
9	子どもが相手を思いやり、考えて行動すること	6.9	5.3	18.5	6.8	5.2	19.0
10	子どもが進んでお手伝いをする事	6.1	4.4	21.6	6.1	4.4	21.7
11	子どもが早寝・早起き・朝ご飯等、規則正しい生活をする事	6.6	5.3	18.1	6.7	5.0	19.7
12	子どもが8～10時間の睡眠をとること	6.6	5.8	14.3	6.6	5.6	15.9
13	子どもが家で学校であった事を話すこと	6.4	5.2	17.9	6.4	5.1	18.9
14	子どもが人の役に立っていると感じる事	6.4	4.8	20.6	6.4	4.7	21.0
15	子どもが自分によいところがあると感じていること	6.6	4.9	20.7	6.6	5.0	20.2
16	子どもが自分のことを好きと感じること	6.6	5.1	19.1	6.7	5.1	19.3
17	子どもが学級や学年、学校の友達を大切にすること	6.8	5.6	16.1	6.8	5.6	16.0
18	子どもが困ったことや嫌なことがあったら、友達や周りの大人に相談できること	6.9	5.2	18.9	6.8	5.2	19.5

【アンケート結果から】

- ・7月と比べ、児童が授業に対して意欲的に臨み「分かった」と感じる場面がたくさんあった様子が伺えます。特に、高学年では、内容が難しくなっている中で、一生懸命取り組み、「分かった」と感じている児童が増えています。また、注目したいのは、高学年で家庭学習に取り組むことができている児童が増えていることです。学校での授業で学んだことを、家庭学習でも頑張ることで、学習内容が定着して理解が深まっていきます。保護者の方も感じておられることですが、低・中学年ではやや家庭学習に苦戦しているように見受けられます。今後も、学校では、「分かった」と実感しながら、付けるべき力が身に付くような授業を目指していきます。ご家庭でも学習に取り組めるよう、粘り強い声かけや励ましをお願いします。
- ・5の項目から、読書については、朝読書の時間や並行読書等で取り組んでいるものの、数値を見る限り、自分から進んで読書をする習慣については、あと一息というところです。活字に触れる機会が少なくなっていることもありますが、「読む力」は学習を支える大切な力です。学校でも、児童が進んで本を読む取組を進めていきますが、ご家庭でも、少しでも活字に親しめるように働きかけをお願いします。
- ・11・12の項目から、保護者の方も感じておられるように、子どもたちの生活リズムが整っていないことが気にかかります。児童が様々な活動に向かうためにも生活リズムを整えることが大切です。冬休み明け、学校では「生活調べ」を行っていますので、ご家庭でも今一度生活習慣をふり返っていただけますよう、よろしくお願いします。
- ・従来からの課題である自尊感情や自己肯定感について、学校では学習や行事の中で向上に向けて取り組んでいきます。ご家庭でも励ましの声かけを引き続きよろしくお願いします。

